

1. 授業の概要(ねらい)

ソーシャルビジネスとは、ビジネスを手段としてさまざまな社会的課題の解決を試み、それらを通して新しい社会的価値を創出する取り組みです。

本学のある立川、八王子、多摩地域では、ソーシャルビジネスを展開する多くの社会的企業が活躍しており、本授業では、本学近隣地域でソーシャルビジネスを展開している、社会的企業の皆様と連携してPBL型の授業を行うことにより、地域社会で活躍できる人材を育てることを目的としています。

PBLとは、Problem-based learning(課題解決型学習)もしくはProject-based learning(プロジェクト型学習)と呼ばれ、企業や地域、教員、もしくは学生が設定した課題や目標に対して、受講生たちがチームで取り組む教育手法です。PBLには、明確な答えがないため、受講生たちが自律的・主体的に取り組むことが必要不可欠です。

本授業でご協力いただく社会的企業及び、予定しているPBLの内容は以下の通りです(順不同)。プロジェクトの具体的な内容は受講生たちが企画立案し、計画したプロジェクトは実際に実施します。

①株式会社 キャリア・맘:女性キャリア支援事業(<http://www.c-mam.co.jp/>)

<プロジェクト内容>

⇒キャリア・맘が運営する「おしごとカフェ(ココリア多摩センター5F)」において、期間限定メニューの企画立案および、店内のメニュー紹介レイアウト、SNS等による広報など。

②認定NPO法人 育て上げネット:若者支援事業(<https://www.sodateage.net/>)

<プロジェクト内容>

⇒育て上げネットの利用者・スタッフをゲストに迎え、大学生を対象としたミニシンポジウム・交流会(@帝京大学八王子キャンパス)の企画立案と開催。テーマ例は、キャリア、就職、人間関係など、身近にある漠然とした不安とその向き合い方、など。具体的なテーマとイベントの内容は、受講生が企画立案します。

③認定NPO法人 多摩草むらの会:精神障害者就労支援事業(<http://kusamura.org/>)

<プロジェクト内容>

⇒多摩草むらの会に所属する各種サークルとのコラボレーションもしくは、トーナメントの企画立案(多摩草むらの会には、様々なサークル活動があり、大会に出場して成果を挙げるなど、日々活発に活動しています)

a.トーナメントの企画

開催可能な例:将棋大会、麻雀大会、バレーボール大会

b.音楽コラボセッションと発表会(多摩草むらの会が運営する農園で開催される、「秋の感謝祭」のステージにおける発表)

コラボ可能な例:ラップ、楽器バンド、コーラス

④医療法人社団 康明会:高齢者支援事業(<http://www.komei-mc.or.jp/komeikai-hospital/>)

<プロジェクト内容>

⇒康明会デイケアセンターとよだ(通所リハ)における持ち込み企画の実施

例:俳句ワークショップの開催や、学内サークルやその他個人・団体とのマッチング企画等(音楽系サークルや落語サークル等)

授業では夏期休暇中、春期授業において受講生が希望した社会的企業において、秋期PBLの企画立案実施を踏まえた現場実習を行います。

現場実習を経て、秋期授業期間中は、上記4事業所が提示したプロジェクト素案をベースに、受講生たちが各チームごとで企画を練り上げ、それぞれの事業所と実施にむけた協働作業を行います。

企画の進捗状況については常にクラス内で共有し、報告・連絡・相談を繰り返しながら、全員で議論していきます。

練り上げたプロジェクトは、実際に実施し、最後に一連のプロセスを通じて得た学びと気づきを言語化し、報告書としてまとめます。

2. 授業の到達目標

- ・「ソーシャルビジネス」という概念を理論的・実践的側面から考え、理解し、「自分事」として行動につなげることができる。
- ・一連のカリキュラムを通して、「見る・聴く・体験する・議論する・調べる・企画する・発表する」ことを経験し、その力を具体的に身に付けながら、学びを深めることができる。
- ・卒業後、地域社会で発揮できるための、論理的思考や協調性、職業意識を育成し、それを学生自身が考える「就業力」につなげることができる。
- ・現代社会における「仕事」「働く」ことについて社会的に考え、自分なりの「答え」を探求し、それを言語化することができる。

3. 成績評価の方法および基準

現場での実習状況(10%)、協働プロジェクトの企画運営実施への参加状況・貢献度(60%)、チームによる報告(15%)、最終レポート(15%)から総合的に評価します。

出席は原則8割以上を前提とします。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

実習では日々の振り返りを心掛けてください。授業には必ず発表準備をしてから参加し、授業外においても、担当教員や他の学生たちと積極的にコミュニケーションをとってください。

6. その他履修上の注意事項

実践の中で学び、その学びを言語化して伝える楽しさと難しさを、存分に経験し、自分の糧としてください。そして、社会の中のいち「チェンジメーカー」として、自分だからこそできることを模索し、大いに奮闘してください。

※授業の予定は状況によって変更となる場合があります。日程等も含めて、初回授業で説明します。

※本科目は、春期「ソーシャルビジネス実習基礎」履修者を対象としています。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション・実習の振り返りと今後の進め方について
- 【第2回】 プロジェクト企画立案発表
- 【第3回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第4回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第5回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第6回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第7回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第8回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第9回】 プロジェクト企画立案発表
進捗状況の報告と確認、ディスカッション
- 【第10回】 プロジェクトの実施①
- 【第11回】 プロジェクトの実施②
- 【第12回】 プロジェクトの実施③
- 【第13回】 プロジェクトの実施④
- 【第14回】 振り返り
報告書執筆について
- 【第15回】 まとめ